

小中高生による土木施設見学会を開催

平成26年6月7日（土）、土木学会関西支部主催の土木施設現場見学が、小中高生を対象に開催されました。今回、昨年の台風18号で活躍した日吉ダムと、京都府の南北を結ぶ京都縦貫自動車道の工事現場を見学しました。

見学会には、小中高生とその家族160人が応募により参加しました。初めは小雨まじりの天気でしたが、徐々に回復し見学日和になりました。日吉ダムでは、防災資料館で、ビデオや展示物で水の大切さを知っていただき、展望台から、昨年9月に記録した、ダムの最高水位を実感していただきました。その後、堤体内のインフォギャラリーで、常用洪水吐きゲートなどの、設備の働きや、ダム管理についての説明を聞いていただきました。参加者は、熱心に説明を聞いておられました。

次の世代を担う方々や家族の皆さんに、ダムや道路などの社会インフラの必要性を理解していただく良い機会になりました。参加者からは、「分かりやすい説明でよく理解できた」「また家族でゆっくり訪れたい」との感想をいただきました。皆さんお疲れ様でした。



防災資料館ホール



防災資料館展望台



インフォギャラリー



インフォギャラリー